

東部コミュニティセンター空調設備等整備事業に係る公募型プロポーザル 審査基準

項番	評価項目	着眼点	求める提案内容、判断基準	配点
				配点
1	過去10年間の施設の設備工事の実績 ※コンソーシアムの場合、どの構成企業の実績でも可とする。協力企業は不可。	設計の実績 (新築・改修問わず)	・脱炭素化推進事業債を申請した設計・施工の実績がある ・類似の設計・施工の実績がある	10
		施工の実績 (新築・改修問わず)		10
2	事業者の能力	保有資格	・設計業務において、業務に関わる技術者が、技術士(機械部門)、設備設計一級建築士、建築設備士を保有しているか。	5
3		業務実施方針	・本事業の目的を的確に理解し、効果的且つ適切な業務遂行方針(提案)となっているか。	5
		業務実施体制	・本事業を推進するにあたり、設計、施工、工事監理に必要な実施体制とバックアップ体制が確保されているか。	5
4	技術提案	指定改修設備の改修内容に関する提案	・高効率機器の採用、低負荷運転時の制御、熱源変更による省エネ提案となっているか。 ・故障時に対応したシステム、各種照明制御など、機器運用の効率化に関する提案となっているか。 ・デマンド制御、ファン・ポンプへのインバーター導入など、WEBPRO未評価技術の採用による光熱費削減提案となっているか。 ・現状の熱源機器に対して、根拠のあるダウンサイジング提案および検討手法となっているか。 ・その他メンテナンス性、耐久性の向上などに資する提案となっているか。	10
5		指定改修設備以外に関する提案 (追加提案)	・施設の特徴(図書館機能・貸室業務・生きがいサロン)を考慮した利用者、施設管理者にとってメリットになる提案がされているか。	10
6		工程管理手法・工事計画(安全対策、近隣対策含む)	・設計業務着手から図面承認、積算、資機材発注、着工、竣工完了までの全体工程表は妥当か。また、クリティカルパスと工事期間についてどうか。 ・工事期間中の施設の使用制限について、利用者に配慮されているか。 ・利用者の安全確保と動線計画、各施設の部分利用時の具体的な安全対策についてはどうか。また、近隣への配慮はどうか。	5
7		使用機器の妥当性・優位性(性能、品質など)、品質管理手法	・導入する空調設備、LED照明機器の妥当性、性能・品質、他の機器に対しての優位性はどうか。 ・品質確保のためどのようなプロセスで各業務を行うか、その具体的な品質管理手法はどうか。 ・要求水準及び提案内容の実現に寄与する管理方法が取られているか。	5
8		維持管理(ランニングコスト)・チューニング等	・運用段階のエネルギー分析に関する具体的な手法についてどうか。 ・分析したデータに基づくチューニングの実施手法および運用改善提案についてはどうか。 ・チューニング後の効果実証について適当な手法となっているか。	5
9		地域貢献	・提案見積額に対する市内業者の施工割合はどの程度か。	15
10	技術職員の経験及び能力 (ヒアリング)	取組姿勢	今回の提案に対する意欲・熱意が感じられるか。	5
11		説明の明確さ	プレゼンの内容は分かりやすいものだったか。	5
12		コミュニケーション力	質問に対する応答については適切であったか。	5
13	コスト(価格)	提案見積価格	25点 - (各社見積額ー最低提案額) / 50万円	25
合 計				125